

はじめて子育て講座「ほっとサークル」 定員 20人 参加無料

～マーガレットコース～ 平成 28 年 10～12 月生まれの子どもと家族が対象
 「こんな悩みは私だけ?」「近所でお友だちが欲しいな」というママ。初めての子育ては不安や悩みが尽きないですよ。2 日目はベビーマッサージ。赤ちゃんに触れ合いながら、他のママと子育てについて一緒に考えていきましょう。



日時	場所	内容	持ち物
3月9日(木) 10:00～11:30	藤久保公民館 (和室)	仲間づくり、子育てQ&A、おもちゃ製作	・母子健康手帳 ・赤ちゃんに必要なもの(ミルク、おむつ、バスタオルなど)
3月13日(月) 10:00～11:30	藤久保公民館 (和室)	ベビーマッサージ	※お肌が敏感なお子さんは、マッサージオイルをご持参ください。
3月21日(火) 10:00～11:30	保健センター (調理室)	手作りおやつでティータイム ～プレママと先輩ママの交流～	※21日(火)はエプロン、三角巾、手拭タオルもご持参ください。

申込方法…電話、FAX、メールで申し込み。メール、FAXの場合は以下の必要事項を記入。
 必要事項: ①参加するママの名前 ②住所 ③電話番号 ④子どもの名前と生年月日 ⑤何番目の子どもか
 メールの場合は、上記の内容を記入し、件名に「子育て講座申込み」と書いて送信してください。
 問い合わせ 保健センター ☎258-1236 FAX 258-5994
 ☒ hoken@town.saitama-miyoshi.lg.jp 右のQRコードでほっとサークルの様子が動画で見られます→



大豆と米麴を使った手づくりみそ講座 定員 10人

ご家庭にある「みそ」がどのようにしてできるのかご存知でしょうか。食育の一環として、この講座では、大豆と米麴を使ったみそを作り、地域において継承されてきた伝統や、食文化にふれてみたいと思います。絶品「みそ」にチャレンジしてみませんか。親子参加も歓迎です。



日時: ①2月12日(日) ②2月22日(水) 各 13:00～
 場所: 保健センター 2階 調理室
 費用: 材料費約 2,800 円: 出来上がり目安約 5kg
 申込方法: 電話、保健センター窓口による受付
 申込締切: ①2月3日(金) ②2月13日(月) 各 16:00
 ※大豆はあらかじめ、ご自宅で煮てきていただきます。
 (材料は事前にお渡しします)
 ※仕込み用容器をお持ちでない場合は手配いたします (約 3,200 円)
 問い合わせ 保健センター ☎258-1236

休日・夜間・小児時間外診療所

施設名	休日急患診療所	第二休日診療所	小児時間外救急診療所	イムス富士見総合病院(入院等が必要な救急小児)
所在地	ふじみ野市駒林元町 3-1-20	富士見市鶴馬 3351-2	ふじみ野市駒林元町 3-1-20	富士見市鶴馬 1967-1
電話番号	049-264-9592	049-252-4050	049-264-9592	049-251-3060
診療日	日曜・祝日・年末年始	日曜・祝日	月～土曜	月・木曜
診療時間	9:00～16:00 20:00～22:00	9:00～16:00	20:00～22:00	月・木曜が平日 18:00～翌朝 8:00 まで 月・木曜が祝日 8:00～翌朝 8:00 まで

下記のイベント会場は全て中央図書館
 申込みは中央図書館にて受付中 (電話可)

大人のための図書館歴史講座 資料で見る三芳の歴史 ～寺子屋師匠 島田伴完の教え～

2月4日(土) 14:00～15:30
 ▶講師 図書館職員 (元歴史民俗資料館館長) ▶定員…30人

中高年の読書会 ～ビブリオバトル方式～

おすすめの本を持参し、1人5分以内で紹介。意見交換。聞くだけの参加も大歓迎。

2月9日(木) 14:00～16:00 受付 13:45
 ▶共催 みよし読書愛好会、図書館 ▶定員…20人



大人のための朗読を楽しむ会 ～元NHKアナウンサーによる「片耳の大シカ」他～

3月4日(土) 14:00～15:30 受付 13:40
 ▶朗読 元NHKアナウンサー 寺田道雄氏、七月の朗読会 ▶対象・定員…中学生以上・40人
 ▶作品 「片耳の大シカ」(椋鳩十作)、「一房の葡萄」(有島武郎作) 他



※子よしも向きのイベントは、P20にも掲載しています。

図書館だより

毎月23日は、「よみ愛・読書の日」
 ▶特別整理休館のお知らせ
 2月13日(月)～2月20日(月)は全館休館します。

中央図書館 ☎258-6464
 開館時間 / 10:00～19:00 (土・日 18:00 まで)
 休館日 / 毎週月曜日、月末、土・日除く祝日
 竹間沢分館 ☎274-1722
 開館時間 / 11:00～18:00
 休館日 / 毎週月曜日、月末、土・日除く祝日
 配本所 (中央公民館内) ☎258-0050
 開館時間 / 9:00～21:00
 休館日 / 原則第1月曜日 (中央公民館休館日)

雪、に関する本別置紹介中

児童書
楽しいスケート遠足
 ヒルダ・ファン・ストックム作 絵 ふなとよし子 訳
 福音館書店 2009年10月発行
 請求記号: 933 フア

国じゅうの運河が凍りつく冬のオランダ。学校でスケート遠足にでかけた双子の兄妹は、初めての経験にわくわくするが、途中、兄が氷の穴に落ちてしまい…。1908年オランダ生まれの作者が、子ども時代の体験を元に書いたお話。中学年から。

みよし歴史探訪

三芳の石造物 古井戸の馬頭明王

こぶしの里から台地上にかけては、竹間沢の中でも古井戸と呼ばれる地域であるが、そのこぶしの里入り口脇には、2基の石造物が立っている。このうち向かって左側が古井戸地蔵と呼ばれる地蔵だが、今回は向かって右側に立つ馬頭明王を紹介する。

この石造物には、六臂で輪や剣を持ち、頭上に馬の頭を頂いた憤怒の形相の馬頭明王坐像を本尊に、「宝曆八年十月十八日」(宝曆八年は1758)の紀年銘、「竹間沢村 池上太右衛門」の施主名が彫られている。六臂で剣を持つ像といえは昨年5月の「歴史探訪」で紹介した庚申塔とよく似ているが、馬頭明王には三猿は彫られておらず、像の頭上に馬の頭を頂いている点で見分けることができる。

馬頭明王とは、憤怒の形相からの呼称だが、日本に伝来した密教においては観音として信仰されることが多かったため、主に馬頭観音と呼ばれる。馬は、日本で古くから利用されてきた動物で、近世においては、農耕や物資の

運送などのための貴重な財産として庶民にも重宝されていた。そのため、所有する馬の無病息災や死んだ馬に対する供養の願いを込めて、馬の守護神としての馬頭観音造立が各地で行われた。

三芳でも同様で、馬を重宝してきた証として町内に多くの馬頭観音が残っているが、そのうち紀年銘が最も古い古井戸の馬頭明王は、三芳での馬頭観音信仰の始まりを伝えている。また、中世の人々の営みを伝える鎌倉街道脇に立つ、馬頭明王と古井戸地蔵(紀年銘は1778)からは、造立された江戸時代中期においても、鎌倉街道が主要な道の一つであったことがうかがえる。

これからの季節、こぶしの里には野草や花が芽吹き始める。これらの植物の観賞と合わせて、古井戸の馬頭明王を訪れてみてはいかがだろうか。

